

炭酸泉に入浴したらどんな効果があるの？

高血圧、糖尿病、肩こり、腰痛、関節痛、痔、寝たきり予防、冷え性、皮膚疾患などなど・・・

天然または人工の炭酸泉が、病院をはじめとする医療機関等でさまざまな病気の治療に実際に活用されています。

炭酸泉の入浴効果は医学レベルで実証されているの？

天然炭酸泉や医療機器の人工炭酸泉を用いた研究が、学術団体の人工炭酸泉研究会を中心に進められています。人工炭酸泉研究会では、大学病院や専門医師、医療従事者による炭酸泉の入浴効果が多数発表されています。

炭酸泉ってお肌にいいの？

炭酸温泉は肌に優しいPH4.5の弱酸性です。アストリンゼント効果ですべすべの肌になるといわれています。手の荒れやすい人にはおすすめです！

炭酸泉を飲むとどうなるの？

炭酸ガスには、胃腸を刺激し、腸のぜんどう運動を促したり、水分排泄を促す働きがあります。これにより女性の大敵である便秘を解消することができ、又、利尿作用やむくみ解消も期待できるのです。

炭酸泉に入るとどうなるの？

炭酸泉の中に入ると、一般的には下記の反応・効果があると言われています。

- 皮膚表面に目に見えないほどの細かい気泡(炭酸ガス)が付きます。
- 炭酸ガスが皮膚から吸収されると、毛細血管が開いて多くの血液が流れるようになります。
- 毛細血管が開くことにより、末梢血管抵抗が減少するので血圧が下がります。
- 血液循環の改善により、疼痛物質や老廃物を効率よく排除します。
- 自律神経へ直接作用することにより(脈拍数の減少など)、リラックス効果が得られます。
- 血液循環の増加により新陳代謝が活性化します。
- 弱酸性の水質なのでアストリンゼント効果(肌の引き締め)による美肌も期待できます。

炭酸泉が入浴剤でいいんじゃないの？

炭酸ガス入浴剤一個で約 50PPM の濃度になります。薬剤で炭酸泉を作っていますから、どうしてもその色素や香料成分は残ってしまいます。炭酸ガスを直接溶解する炭酸泉は安心です。炭酸ガスが全部気化した後は、ただの水に戻るだけですから安心です。

炭酸浴はこんな方におすすめです】

冷え症、むくみ、やけど、切り傷、肩こり、関節痛、リウマチ痛、高血圧、高血糖、痛風、手足のしびれなど抹消神経障害、動脈硬化、前立腺肥大、糖尿病による虚血性潰瘍などでお悩みの方など

○美肌効果 ○ストレス解消

～炭酸ガスを皮膚から吸収、血行促進～

体内に取り込まれた炭酸ガスは全身の血管を拡張し、血液の循環をよくする効果があります。そのためヨーロッパでは、炭酸泉は古来から“心臓の湯”と呼ばれ、入浴療法に使われてきました。日本でも医療機関などで研究が進められ、その効果が注目されています。また、炭酸泉は肌にやさしい弱酸性で、毛穴を引き締め、湯上がりにはなめらかで潤いのある肌を実感できます。美容の効果も期待できるお風呂です。炭酸泉は日本では長湯温泉（大分県）、花山温泉（和歌山県）泡の湯温泉（山形県）など数ヶ所にしか存在しない貴重な泉質です。その貴重な「炭酸泉」を医療効果の高い 1,000ppm の高濃度で再現した『高濃度炭酸泉』を是非おためしください。

【炭酸泉の特徴】

炭酸泉風呂の最も医療効果が現れる濃度は 1000ppm からです。しかし、日本の温泉地でその条件を満たす温泉はわずかしかなかった。したがって人工の高濃度炭酸ガス発生装置を導入し、1000ppm の高濃度炭酸湯を再現しております。

(市販の炭酸入浴剤は 50 ppm 位です) 毎日入ることで冷え性に効果的です。

どうぞごゆっくりその効果をためしてみてください。

【炭酸泉ご入浴の仕方】

お湯をかき回さずに静かにつかります。2~3分で手足に気泡がつき出しますが、15分以上はお入りにならないでください。

※過度の高血圧症の方、動脈硬化症の方、心臓病の方、その他医師から入浴を制限されている方はお入りにならないでください。

炭酸泉は湯温を 37℃前後に設定しています。37℃というのは、体感的にはぬるいと感じると思いますが、炭酸ガスが溶け込みやすい一番効果的な湯温です。湯温をそれ以上にしてしまうと、炭酸ガスが放出し効果が期待できません。

クッキリの紅潮反応に驚き！

しばらくじっと入浴していると、湯面部分の皮膚が赤く紅潮していることに気づきます。ぬるく設定していても、赤く紅潮しますので炭酸パワーのすごさに驚きます。



ずーっとポカポカ温かい

冷え性じゃなくても良くわかると思うのですが、お風呂からあがった後もポカポカ温かく感じます。

短い人でも3時間、長い人で6時間くらいポカポカが持続しますので驚きです。たまっていたストレスが一気に解消されます。

夏の暑い日は、低めの温度に入浴しても、深部体温は下げませんのでさっぱりした心地よさが感じられます